

戦旗

一九三〇年八月三日発行
発行所 東京久松二の五五
世界労働運動研究所 清水 治
編集者 清水 治
印刷所 清水 治

万国の労働者団結せよ
革命的階級・共産主義者同盟を
すべての工場に組織せよ
共産主義者同盟

「戦旗」
固定購読
新年度大入札の五五
世界労働運動研究所
東京 清水 治
定価 半年 二部 十部
月 四部 一元

主観主義と小ブル急進主義の克服のために

前衛党建設の課題はなにか

東大細胞意見書への反論

山崎 衛
田川 和夫

「東大細胞」の意見書は、主観主義と小ブル急進主義の克服のために、前衛党建設の課題はなにか、という問いに答えるものである。その中心は、労働者階級の階級的力量と政治闘争のあり方にある。意見書は、労働者階級の階級的力量が増大し、政治闘争が激化しているにもかかわらず、前衛党が建設されないのは、主観主義と小ブル急進主義の克服が不十分であるからである、と主張している。

意見書の中心は、労働者階級の階級的力量と政治闘争のあり方にある。意見書は、労働者階級の階級的力量が増大し、政治闘争が激化しているにもかかわらず、前衛党が建設されないのは、主観主義と小ブル急進主義の克服が不十分であるからである、と主張している。意見書は、労働者階級の階級的力量が増大し、政治闘争が激化しているにもかかわらず、前衛党が建設されないのは、主観主義と小ブル急進主義の克服が不十分であるからである、と主張している。

「政治闘争」と

「政治闘争」とは、労働者階級の階級的力量が増大し、政治闘争が激化しているにもかかわらず、前衛党が建設されないのは、主観主義と小ブル急進主義の克服が不十分であるからである、と主張している。意見書は、労働者階級の階級的力量が増大し、政治闘争が激化しているにもかかわらず、前衛党が建設されないのは、主観主義と小ブル急進主義の克服が不十分であるからである、と主張している。

国家独占資本主義論への傾斜

修正資本主義論

国家独占資本主義論への傾斜、修正資本主義論。意見書は、国家独占資本主義論への傾斜、修正資本主義論を批判している。意見書は、国家独占資本主義論への傾斜、修正資本主義論を批判している。意見書は、国家独占資本主義論への傾斜、修正資本主義論を批判している。

意見書は、国家独占資本主義論への傾斜、修正資本主義論を批判している。意見書は、国家独占資本主義論への傾斜、修正資本主義論を批判している。意見書は、国家独占資本主義論への傾斜、修正資本主義論を批判している。

安保総括の基本はなにか

三万年決戦論では

安保総括の基本はなにか、三万年決戦論では。意見書は、安保総括の基本はなにか、三万年決戦論ではを批判している。意見書は、安保総括の基本はなにか、三万年決戦論ではを批判している。

意見書は、安保総括の基本はなにか、三万年決戦論ではを批判している。意見書は、安保総括の基本はなにか、三万年決戦論ではを批判している。

田川和夫著 予価二四〇円
日本共産党史
一掃掃された前衛
日本共産党への不信は深まってきた。それは前衛の光明か、激越的な歴史の証明か。

田川和夫著 予価一八〇円
日本国家独占資本主義の成立
国家独占の分析と史的形勢の究明
国家独占の分析と史的形勢の究明。これは、現在、理論化する本邦の歴史は、史料の整理に問題を抱えている。

全学連学生の日記 二〇〇円
安保闘争
武井健人編著
闘争の中心は、安保闘争である。これは、現在、理論化する本邦の歴史は、史料の整理に問題を抱えている。

装甲車と青春
川口 安保、三浦、押田、立、に抗して闘った学生、既成階級の部が打った闘争の中心は、安保闘争である。これは、現在、理論化する本邦の歴史は、史料の整理に問題を抱えている。

現代思潮社
東京東区七丁目四一九九

